

地域経済活性化ファンドを設立し、 第1号案件として投資実行

飯能信用金庫(飯能市/理事長:松下寿夫)は有限会社地域共彩キャピタル(草加市草加/代表:藤野昌平)と共同で地域経済活性化を目指したファンド「飯能信金地域未来創造投資事業有限責任組合(通称:飯能信金地域未来創造ファンド)」を設立し、第1号案件として株式会社フォトンラボへ投資実行しました。

〈飯能信金地域未来創造ファンドについて〉

SDGsやサーキュラーエコノミーなど地域に好循環をもたらす新興企業や、地域で雇用を抱える事業承継に課題がある企業への出資を通じて、地域経済の活性化に寄与することをファンドの目的としています。地域共彩キャピタルがファンドの運営・管理を担い、当金庫職員が投資先企業の成長や事業承継に対する支援をハンズオンで行い企業価値の向上を目指します。

投資総額は約3億円で、1社あたり3千万円～5千万円を想定しています。投資先は原則、当金庫の営業エリア内の企業です。

〈第1号案件:フォトンラボについて〉

株式会社フォトンラボ社は、理化学研究所(理研)発のベンチャー企業です。2012年12月に発生した笹子トンネル崩落事故を契機に、公共インフラのメンテナンスに特化した事業を展開している企業です。新たな技術を用いて地域インフラに貢献している点を評価し、当ファンドの投資対象としました。



〈飯能信金地域未来創造ファンド概要〉

名称	飯能信金地域未来創造投資事業有限責任組合
通称	飯能信金地域未来創造ファンド
所在地	飯能市栄町24-9
GP	有限会社地域共彩キャピタル
LP	飯能信用金庫
LP出資額	3億円
運用期間	10年間

【本件に関するお問い合わせ】

飯能信用金庫 地域支援部 経営支援グループ 吉永・出町

☎042-972-8123 (平日9:00~17:00)

✉keieishien@hanno-shinkin.jp

